

科目名	現代の国語		単位数	2	出席すべき日数	2	
科目の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 						
使用教科書	新編現代の国語(東京書籍)		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	ルリボシカミキリの青			No.1, 2	p.12-17
		概要	筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考えていく力を養う。また、生きる原点としての自己への理解を深める。				
	2	単元名	未来をつくる想像力			No.1, 2	p.24-30
		概要	情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。また、評論を読み筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げる。				
	3	単元名	無彩の色			No.3, 4	p.78-86
		概要	色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。また、新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げる。				
	4	単元名	鍋洗いの日々			No.3, 4	p.94-99
		概要	自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。また、働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考える。				
	5	単元名	りんごのほっぺ			No.5	p.150-158
		概要	出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。また、芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深める。				
	6	単元名	美しさの発見			No.5	p.142-149
		概要	「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。				
	7	単元名	話すこと・聞くこと			No.6	p.50-55
		概要	説明をしたり、読み比べたりすることを通して、コミュニケーションの基礎となる力を養う。				
	8	単元名	書くこと			No.6	p.130-140
		概要	話し合いをしたり、自分の考えを書いたりすることを通して、表現する力を養う。				
	9	単元名	読むこと			No.2, 4, 5	p.56-66
		概要	複数の文章を読み比べ、自分の考えを深める。				

科目名	言語文化		単位数	2	出席すべき日数	2	
科目の狙い	<p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
使用教科書	新編言語文化(東京書籍)		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	とんかつ			No.1, 2	p.24-35
		概要	会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。				
	2	単元名	とんかつ			No.1, 2	p.24-35
		概要	会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。				
	3	単元名	羅生門			No.1, 2	p.72-87
		概要	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。				
	4	単元名	羅生門			No.1, 2	p.72-87
		概要	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。				
	5	単元名	古文に親しむ、古文学習のしるべ			No.3, 4	p.124-125
		概要	古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語の決まりを理解する。				
	6	単元名	兎のそら寝			No.3, 4	p.122-123
		概要	説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。				
	7	単元名	訓読の基本			No.5	p.210-218
		概要	漢文の特色を知り、決まりを理解する。				
	8	単元名	故事成語(三編)			No.5	p.220-226
		概要	格言や故事成語を読み、漢文の世界に親しむ。				
	9	単元名	短歌・俳句			No.6	p.50-70
		概要	詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。				

科目名	国語表現		単位数	4	出席すべき日数	4	
科目の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 						
使用教科書	国語表現(大修館書店)		学習書	なし			
区分	スターリンク回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
(1)	1	単元名	言葉と表記、整った文を書く			No.1	p.12-25
		概要	整った文を書くために、読みやすわかりやすい文を学習する。				
	2	単元名	相手に応じた言葉遣い			No.1	p.12-25
		概要	相手や場面によってふさわしい言葉遣いができるよう、言葉のニュアンスを意識し、適切に使いこなせるようにする。				
	3	単元名	わかりやすい文を書く、文のつなぎ方			No.2	p.12-25
		概要	わかりやすい文にするための留意点を知り、文と文のつなぎ方にも着目した学習を行う。				
	4	単元名	絵や写真を見て書く			No.3	p.35-47
		概要	書いてコミュニケーションを取るため、絵や写真を用いて、相手に伝わるように書く練習に取り組む。				
	5	単元名	小論文とは			No.4	p.53-81
		概要	小論文についての基礎知識を学び、作文との違いを明確にしていく。				
	6	単元名	反論を想定して書く			No.5	p.53-81
		概要	実際の小論文に触れ、そこから出る反論などを想定した文の書き方を学ぶ。				
	7	単元名	自己PRと面接 その1			No.6	p.94-115
		概要	自身の過去や現在を見つめ、自分はどうな人間なのかを考えてみる。				
	8	単元名	自己PRと面接 その2			No.6	p.94-115
		概要	自身の魅力や特長をわかりやすく印象的に伝える練習をしていく。				
	9	単元名	まとめ			No.6	-
		概要	これまで学んだことを復習し、自身のことを表現していく。				
(2)	10	単元名	文章を読み取って書く			No.1	p.53-81
		概要	文章を読み取り、その読み取ったことをふまえて小論文を書く練習をする。				
	11	単元名	発想を広げて書く			No.1	p.53-81
		概要	発想を広げて小論文を書く学習に取り組む。				
	12	単元名	志望理由や自己推薦書の書き方			No.2	p.94-115
		概要	説得力のある志望理由や自己推薦の内容などを考える。				
	13	単元名	通信文を書き分ける			No.2	p.127-145
		概要	いろいろな通信文の書き方と使い分けを学ぶ。				
	14	単元名	電話を使いこなす			No.3	p.127-145
		概要	改まった場面での電話のやり取りを練習していく。				
	15	単元名	電子メールを使いこなす			No.3	p.127-145
		概要	電子メールの特徴や使い方を知り、より上手に使いこなすための学習を行う。				
	16	単元名	メディアと情報			No.4	p.127-145
		概要	それぞれのメディアの特徴を理解し、情報を吟味しながら活用する姿勢を身に付ける。				
	17	単元名	エッセイを書く			No.5	p.216-221
		概要	優れたエッセイを味わい、その表現を参考にしながら、自身でもエッセイを書くことで表現力を養う。				
	18	単元名	魅力的なポスターを作る			No.6	p.196-199
		概要	ポスターの特徴を知り、コピーの役割などを学び、一つの紙で相手の心をつかむようなポスター作りをしていく。				

科目名	論理国語		単位数	4	出席すべき日数	4	
科目の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 						
使用教科書	新編論理国語(大修館書店)		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
(1)	1	単元名	「論理」への第一歩、論理の窓			No.1	p.18-26
		概要	「論理とは何か」ということを、言葉の由来や意味などから紐解いていく。				
	2	単元名	「論理的な人」とはどういう人か			No.1	p.32-41
		概要	「論理」についての筆者の考えを読み取り、さらに筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもたせる。				
	3	単元名	ウサギの耳はなぜ長い？			No.2	p.32-42
		概要	具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。				
	4	単元名	対話の精神			No.3	p.58-66
		概要	対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。				
	5	単元名	人工の自然			No.4	p.82-88
		概要	主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。				
	6	単元名	紙の本はなくなる			No.5	p.130-137
		概要	異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。				
	7	単元名	論理的に書く その1			No.6	p.102-110
		概要	小論文の基本的な書き方を学び、論理的に書く力を身に付ける。				
	8	単元名	論理的に書く その2			No.6	p.102-110
		概要	資料からデータを正しく読み取り、上手に、かつ、適切に活用する力を身につける。				
	9	単元名	論理的に書く その3			No.6	p.102-110
		概要	情報を収集し、目的に応じて活用しながら、自分の考えを筋道立てて説明できる力を養う。				
(2)	10	単元名	探究する力			No.1	p.160-165
		概要	自分自身を客観的に見つめ、問いを重ねることで、社会の中でどのように生きていくか、将来を視野に入れて自分と対話し、課題を探究する。				
	11	単元名	ミロのヴィーナス			No.1	p.184-191
		概要	筆者の主張を批判的に検討し、自分の意見の根拠を吟味して説得力を高める。また、首長と根拠の関係に注目				
	12	単元名	ロボットに心はあるか			No.2	p.216-225
		概要	複数の文章を比べながら読み、それぞれの視点を的確にとらえる。また、観点を定めて分析することを通して、思考を深めていく。				
	13	単元名	政治の本質			No.2	p.250-257
		概要	興味をもったテーマを探究し、問を深めていく。				
	14	単元名	未来の地図帳			No.3	p.284-291
		概要	今日の世界のさまざまな課題や困難について、これまでの学習で身に付けた力を使い、探究したいことを探し、よりよい社会を実現していくためにできることを考える。				
	15	単元名	論理的に書く その4			No.3	p.238-248
		概要	テーマ型、課題文型、データ型など様々な種類の小論文に触れ、それぞれの型にあった書き方を養う。				
	16	単元名	社会に向かって			No.4	p.196-206
		概要	将来に向け志望理由書や自己推薦書などの書き方を学ぶ。				
	17	単元名	考えを深めるための話し合い			No.5	p.270-272
		概要	さまざまな話し合いの方法と、それぞれの特徴を知り、実際の場面で活用できる力を養う。				
	18	単元名	探究的な学習の進め方			No.6	p.310-319
		概要	自ら課題を見つけ、学習の進め方を考え、主体的に学ぶ力を身に付けていく。				

科目名	基礎国語		単位数	4	出席すべき日数	4
科目の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学ぶ漢字の読み書きや文法、表現技法などを復習していく。 ・随想や小説、評論文などを読み解きながら、それぞれのジャンルでの特徴を掴み、読み方を身に付けていく。 ・上記を学ぶことで、書くこと、読むこと、聞くこと、話すことの基礎的な力を養っていく。 					
使用教科書	なし		学習書	1. 高校国語へのstep(東京書籍) 2. 高校生の語彙力・読解力ワーク(実教出版)		
区分	スカラーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書
(1)	1	単元名	漢字の読み方		No.1	step p.2-3 ワーク p.2-5
		概要	紛らわしい漢字や三字熟語、四字熟語など			
	2	単元名	漢字の書き取り		No.1	step p.4-5 ワーク p.6-9
		概要	誤りやすい漢字、類似字形の漢字など			
	3	単元名	漢字の知識 その1		No.2	step p.6-7
		概要	音と訓、送り仮名、漢字の部首など			
	4	単元名	漢字の知識 その2		No.3	step p.6-7 ワーク p.16-19
		概要	熟語の構成、対義語、類義語など			
	5	単元名	漢字の知識 その3		No.4	step p.8-9 ワーク p.12-15
概要		同音異義語、同訓異字など				
6	単元名	語句の知識 その1		No.4	step p.10-11 ワーク p.22-23	
	概要	慣用句、ことわざ、故事成語など				
7	単元名	語句の知識 その2		No.5	step p.12-13 ワーク p.24-25	
	概要	文法、文節、品詞など				
8	単元名	言葉の使い方 その1		No.5	step p.12-13	
	概要	敬語表現、比喩や擬人法などといった表現技法など				
9	単元名	言葉の使い方 その2		No.6	—	
	概要	学んだことの復習、まとめ				
(2)	10	単元名	現代文読解 その1		No.1	step p.14-15
		概要	随筆の読み方について			
	11	単元名	現代文読解 その2		No.1	step p.14-15
		概要	実際の作品に触れ、随筆を読解していく			
	12	単元名	現代文読解 その3		No.2	step p.16-17 ワーク p.34-37
		概要	小説の読み方について			
	13	単元名	現代文読解 その4		No.2	step p.16-17 ワーク p.34-37
		概要	実際の作品に触れ、小説を読解していく			
	14	単元名	現代文読解 その5		No.3	step p.18-19 ワーク p.30-33
		概要	評論の読み方について			
	15	単元名	現代文読解 その6		No.3	step p.18-19 ワーク p.30-33
		概要	実際の作品に触れ、評論を読解していく			
	16	単元名	古文読解		No.4	step p.24-29
		概要	古文の知識、仮名遣いなどを学び、実際の古文を鑑賞する			
	17	単元名	漢文読解		No.5	step p.30-31
		概要	漢文の知識、訓読の仕方などを学び、実際の漢文を鑑賞していく			
	18	単元名	詩・短歌などの読解		No.6	ワーク p.38-39
		概要	詩や短歌などの種類や表現技法などを学ぶ。			

科目名	地理総合		単位数	2	出席すべき日数	2	
科目の狙い	1地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 2地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。						
使用教科書	東京書籍 地理総合		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	私たちが暮らす世界			No.1, 2, 6	p.6 - 18
		概要	地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考える。				
	2	単元名	地図や地理情報システムの役割			No.1, 2, 6	p.19 - 36
		概要	多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考える。				
	3	単元名	資料から読み取る現代世界			No.1, 2, 6	p.37 - 54
		概要	主題図や統計資料を読み取り、観光客の国際移動の特徴、観光客数の増加の社会的背景と課題について考察する。				
	4	単元名	人々の生活文化と多様な地理的環境			No.3, 4, 6	p.55 - 120
		概要	文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解する。				
	5	単元名	さまざまな地球的課題と国際協力			No.3, 4, 6	p.121 - 153
		概要	海岸の地形が自然的、人為的要因によって変化していることを理解する。				
	6	単元名	持続可能な社会の実現を目指した			No.4, 5, 6	p.154 - 172
		概要	先進国と発展途上国の対立などの課題があることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考える。				
	7	単元名	自然環境と防災			No.5, 6	p.173 - 202
		概要	震源の位置や土地の条件によって、引き起こされる被害に違いがあることを理解する。				
	8	単元名	生活圏の調査と地域の展望			No.5, 6	p.203 - 217
		概要	身近な地域の課題に対して異なるスケールを織り交ぜて考察し、調査テーマを設定する。				
	9	単元名	前期のまとめ(テスト対策)			No.1 - No.5	p.6 - 217
		概要	テスト対策を通して、前期の授業の振り返りをする。				

科目名	歴史総合		単位数	2	出席すべき日数	2	
科目の狙い	(1)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 (2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて考察する力を養う。						
使用教科書	東京書籍 新選歴史総合		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	近代化と私たち 結び付く世界と日本の開国			No.1, 2, 6	p.8 - 51
		概要	18世紀のアジア諸国の経済と社会について学び、アジア諸国と欧米諸国との関係などについて、様々な資料を活用して理解する。				
	2	単元名	近代化と私たち 国民国家と明治維新			No.1, 2, 6	p.52 - 66
		概要	国民国家の形成の背景や影響などに着目して、19世紀の世界にどのような政治的变化が生じたのかを理解する。				
	3	単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち 第一次世界大戦と大衆社会			No.1, 2, 6	p.67 - 83
		概要	帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目し列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。				
	4	単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち 第一次世界大戦と大衆社会			No.3, 4, 6	p.84 - 105
		概要	第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。				
	5	単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち 第一次世界大戦と大衆社会			No.3, 4, 6	p.106 - 111
		概要	国際協調体制下での、アジア・アフリカ諸国の対応について学び、その後の国際協調体制の崩壊や世界恐慌への流れについて理解する。				
	6	単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち 経済危機と第二次世界大戦			No.3, 4, 6	p.112 - 141
		概要	第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などについて理解する。				
	7	単元名	グローバル化と私たち 冷戦と世界経済			No.5, 6	p.142 - 168
		概要	冷戦が各国経済に及ぼした影響や、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会について理解する。				
	8	単元名	グローバル化と私たち 世界秩序の変容と日本			No.5, 6	p.168 - 195
		概要	冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目し、冷戦終結後の国際政治の変容課題を理解する。				
	9	単元名	まとめと振り返り				p.8 - 195
		概要	学んだ知識を基に主体的に思考、判断し、表現する力を養う。				

科目名	世界史探究		単位数	4	出席すべき日数	半期2	
科目の狙い	(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解する。 (2)歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。						
使用教科書	東京書籍 世界史探究		学習書	なし			
区分	スターリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
(1)	1	単元名	古代文明の出現			No.1, 2, 6	p.22 - 34
		概要	各地域の古代文明について、その共通点や相違点、それらが自然環境とどのように関係しているかなどについて理解する。				
	2	単元名	西アジアと地中海周辺			No.1, 2, 6	p.35 - 55
		概要	西アジアと地中海周辺の国家がどのように影響を及ぼしあい、どのような共通点をもっているかなどについて理解する。				
	3	単元名	イスラーム世界の成立・南アジア			No.1, 2, 6	p.58 - 72
		概要	イスラームとはどのような宗教なのか、ほかの宗教と比較して理解する。南アジアの国家や社会の特徴について理解する。				
	4	単元名	東アジアと中央ユーラシア			No.2, 3, 6	p.78 - 97
		概要	東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響について理解する。				
	5	単元名	イスラーム世界の拡大と繁栄			No.3, 6	p.112 - 121
		概要	アジア・アフリカの広大な地域が、イスラーム文明圏としてまとまった理由などについて理解する。				
	6	単元名	中世ヨーロッパ			No.3, 4, 6	p.122 - 143
		概要	9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ世界ではどのような政治、経済、社会、文化の変動がおこったのか理解する。				
	7	単元名	中華世界の変容とモンゴル帝国			No.4, 6	p.145 - 159
		概要	歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解する。				
	8	単元名	大交易時代と世界の一体化			No.5, 6	p.167 - 185
		概要	大交易時代に、なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に大きく変化したのか、また、世界の諸地域間の関係について理解する。				
	9	単元名	前期のまとめと振り返り				
		概要	学んだ知識を基に主体的に思考、判断し、表現する力を養う。				
(2)	10	単元名	主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大			No.1, 2, 6	p.202 - 224
		概要	16世紀から17世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家には、どのような特徴があったのか理解する。				
	11	単元名	国民国家と近代社会の形成			No.2, 3, 6	p.232 - 258
		概要	18世紀半ばから19世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がりについて理解する。				
	12	単元名	世界市場の形成とアジア諸国の変容			No.3, 6	p.259 - 271
		概要	産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国はどのように対応したのか学ぶ。				
	13	単元名	アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行			No.4, 6	p.272 - 295
		概要	アジア諸国が自国の危機をどのように認識し、欧米列強と対峙しながらいかに改革をすすめたのかについて理解する。				
	14	単元名	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容			No.4, 6	p.298 - 317
		概要	第一次世界大戦は、なぜ「世界大戦」とよばれ、それまでの戦争とどのような点において異なるのか考察する。				
	15	単元名	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦			No.5, 6	p.318 - 335
		概要	世界恐慌は、経済や政治をどのように変化させたのか、また、第二次世界大戦後の国際秩序の再編にどのような影響を与えたのか考察する。				
	16	単元名	第二次世界大戦と戦後の東アジア			No.5, 6	p.337 - 348
		概要	第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と実際のアジアの戦後は、どのような点が連続し、あるいは異なっていたのかについて理解する。				
	17	単元名	冷戦の世界化と国際制度			No.5, 6	p.350 - 362
		概要	冷戦のもとで、世界の平和はどのように模索されたのか、また、冷戦は世界に広がるなかで、それぞれの地域でどのような意味をもったのか学ぶ。				
	18	単元名	後期のまとめと振り返り				
		概要	学んだ知識を基に主体的に思考、判断し、表現する力を養う。				

科目名	日本史探究		単位数	4	出席すべき日数	半期で2
科目の狙い	1我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 2概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。					
使用教科書	東京書籍 日本史探究		学習書	なし		
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書
(1)	1	単元名	先史社会の生活と文化1		No.1, 6	p.8 - 49
		概要	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解する。			
	2	単元名	先史社会の生活と文化2		No.1, 6	p.8 - 49
		概要	東アジアとの交流のなかでうかがいあがる歴史に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。			
	3	単元名	摂関政治と貴族文化		No.2, 6	p.50 - 65
		概要	資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、平安時代初期の政治と文化について理解する。			
	4	単元名	中世社会の成立1		No.3, 6	p.66 - 97
		概要	院政期から武家政権成立期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、中世の特色について多面的・多角的に考察する。			
	5	単元名	中世社会の成立2		No.3, 6	p.66 - 97
		概要	武士の社会進出と平氏政権の誕生、およびその時代の外交と文化の特色について理解する。			
	6	単元名	武家支配の広がり国際交流1		No.4, 6	p.98 - 123
		概要	武家権力による日本社会の変容に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。			
	7	単元名	武家支配の広がり国際交流2		No.4, 6	p.98 - 123
		概要	中世日本の国際交流に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。			
	8	単元名	近世社会の形成		No.5, 6	p.124 - 158
		概要	織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察する。			
	9	単元名	前期のまとめ(テスト対策)		No.1 - No.5	p.8 - 158
		概要	テスト対策を通して、前期の授業を振り返りながら知識や思考の問題を確認する。			
(2)	10	単元名	近代社会の幕開け1		No.1, 6	p.188 - 203
		概要	資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、江戸幕府の支配のしくみについて理解する。			
	11	単元名	近代社会の幕開け2		No.1, 6	p.188 - 203
		概要	江戸時代の百姓のくらしや年中行事に関する資料から、江戸時代の村の生活についての理解を深める。			
	12	単元名	近現代社会の展開1		No.2, 6	p.204 - 239
		概要	資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、江戸幕府の対外政策について理解する。			
	13	単元名	近現代社会の展開2		No.3, 6	p.204 - 239
		概要	「幕藩体制の確立」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や面目を表現することを通して、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。			
	14	単元名	第二次世界大戦と日本1		No.3, 6	p.240 - 269
		概要	昭和恐慌前後の経済政策と立憲政治の動向について理解する。			
	15	単元名	第二次世界大戦と日本2		No.4, 6	p.240 - 269
		概要	第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。			
	16	単元名	占領と改革		No.4, 6	p.270 - 304
		概要	占領下の政治と日本国憲法の成立について理解する。			
	17	単元名	現代の日本の課題の探究		No.5, 6	p.305 - 314
		概要	現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察する。			
	18	単元名	後期のまとめ(テスト対策)		No.1 - No.5	p.188 - 314
		概要	テスト対策を通して、前期の授業を振り返りながら知識や思考の問題を確認する。			

科目名	公共		単位数	4	出席すべき日数	半期2	
科目の狙い	(1)現代の諸課題を捉え考察し、論理的主体として活動するための知識を獲得する。 (2)現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や基本原理を活用し、公正に判断する力を養う。 (3)現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、現代社会に生きる人間として行うべきことへの自覚などを深める。						
使用教科書	東京法令出版 公共		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
(1)	1	単元名	公共的な空間をつくる私たち			No.1, 2, 6	p.6 - 17
		概要	青年期の特徴や発達課題への知識を深め、青年期を生きる自己形成の課題について理解し、考察する。				
	2	単元名	公共的な空間をつくる私たち			No.1, 2, 6	p.18 - 23
		概要	文化や宗教など現代社会における多様性について学び、自分らしく生きることが出来る社会を形成するための課題について理解し、考察する。				
	3	単元名	公共的な空間における人間としてのあり方・生き方			No.1, 2, 6	p.24 - 38
		概要	行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。				
	4	単元名	公共的な空間における基本原理と日本国憲法			No.3, 4, 6	p.40 - 61
		概要	人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解を深める。				
	5	単元名	日本の政治機構と政治参加			No.3, 4, 6	p.62 - 77
		概要	法や規範の意義や役割、国会・内閣の機能と役割や関係性について理解し、世界の政治体制と特徴について比較し、考察する。				
	6	単元名	日本の政治機構と政治参加			No.3, 4, 6	p.78 - 93
		概要	地方自治、政治参加と公正な世論の形成などに関わる、社会の事柄や課題について理解を深める。				
	7	単元名	経済のしくみ			No.5, 6	p.94 - 107
		概要	経済活動と経済主体、市場経済の機能と限界について理解し、現代の企業の在り方と課題について考察し、自立した主体として活動するために必要な情報を読み取る力を身に付ける。				
	8	単元名	経済のしくみ			No.5, 6	p.108 - 121
		概要	国民経済全体をはかる国民所得などの指標、景気変動と物価の動きや、経済活動に関わる現実社会の諸課題について理解する。				
	9	単元名	前期のまとめと振り返り				p.6 - 121
		概要	学んだ知識を基に主体的に思考、判断し、表現する力を養う。				
(2)	10	単元名	変化する日本経済			No.1, 2, 6	p.122 - 127
		概要	戦後の日本経済の推移や歴史的背景を理解し、現代の社会とのつながりについて理解を深める。				
	11	単元名	変化する日本経済			No.1, 2, 6	p.128 - 139
		概要	日本経済の諸課題について、資料を読み取り、法律や政策などでどのように課題を解決しようとしているかを理解する。				
	12	単元名	豊かな生活の実現			No.1, 2, 6	p.140 - 157
		概要	消費者や労働者の立場から権利や責任などについて学び、現実社会の事柄や課題について理解する。				
	13	単元名	国際政治のしくみと動向			No.3, 4, 6	p.158 - 181
		概要	国家主権、領土、人権保障などがどのように世界で広がってきたのかを学び、国際社会の課題について理解する。				
	14	単元名	国際経済のしくみと動向			No.3, 4, 6	p.182 - 187
		概要	貿易と国際分業、外国為替のしくみと国際収支について学び、事実を基に現代の国際社会についての理解を深める。				
	15	単元名	国際経済のしくみと動向			No.3, 4, 6	p.188 - 193
		概要	経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。				
	16	単元名	国際社会の現状と課題			No.5, 6	p.194 - 201
		概要	EUやUSMCAなどの地域統合の進展などに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。				
	17	単元名	国際社会の現状と課題			No.5, 6	p.202 - 207
		概要	地球環境問題をはじめとする地球規模の諸課題に関わる課題について学び、解決策や実現可能性などを基に、自身のできる活動について考察する。				
	18	単元名	後期のまとめと振り返り				
		概要	学んだ知識を基に主体的に思考、判断し、表現する力を養う。				

科目名	政治・経済		単位数	2	出席すべき日数	2
科目の狙い	(1)広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。 (2)現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 (3)自国を愛し、平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。					
使用教科書	清水書院 政治・経済		学習書	なし		
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書
半期	1	単元名	現代日本の政治経済 現代社会のしくみと日本		No.1, 2, 6	p.6 - 64
		概要	日本国憲法や世界の政治体制などについて学び、現代民主政治へのあゆみや基本原理について理解を深める。			
	2	単元名	現代日本の政治経済 現代社会のしくみと日本		No.1, 2, 6	p.65 - 91
		概要	日本の政治機構や国民の政治参加、地方自治について理解し、主権者として政治参加のあり方について考察する。			
	3	単元名	現代日本の政治経済 現代経済のしくみと日本		No.1, 2, 6	p.92 - 116
		概要	経済活動と主体について学び、相互関係によって国民経済を構成していることを理解する。			
	4	単元名	現代日本の政治経済 現代経済のしくみと日本		No.3, 4, 6	p.117 - 137
		概要	日本経済のあゆみや仕組みについて学び、現代の財政や景気の動きについて、資料などを基に理解を深める。			
	5	単元名	現代日本の政治経済 現代経済のしくみと日本		No.3, 4, 6	p.138 - 163
		概要	日本の企業や労働環境、社会保障などの特徴を学び、それに関わる法律や権利、責任について理解を深める。			
	6	単元名	現代社会の諸課題		No.3, 4, 6	p.164 - 173
		概要	現代の社会に存在する課題について学び、それぞれの課題の解決策や解決するための問題点などについて理解する。			
	7	単元名	現代の国際政治・経済		No.5, 6	p.176 - 231
		概要	国際社会と国際経済のしくみについて理解を深め、様々な国際機関や国際的な取り決めがあることを学ぶ。			
	8	単元名	現代の国際政治・経済		No.5, 6	p.232 - 241
		概要	国際社会の諸問題について学び、それぞれの課題の解決策や解決するための問題点などについて理解し、自身ができることについて考察する。			
	9	単元名	まとめと振り返り			p.6 - 241
		概要	学んだ知識を基に主体的に思考、判断し、表現する力を養う。			

科目名	倫理	単位数	2	出席すべき日数	2
科目の狙い	(1)人間としてのあり方や生き方についての見方・考え方を働かせる。 (2)広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力を育成する。				
使用教科書	清水書院 新倫理	学習書	なし		
区分	スクーリング回数	単元名・概要		対応するレポート	教科書
半期	1	単元名	現代を生きる自己の課題	No.1, 2, 6	p.4 - 22
		概要	様々な人間観を理解し、心のあり方を探究してきた心理学の知見を手掛かりに、他者とともによりよく生きる自己の生き方について考察する。		
	2	単元名	人間としての自覚	No.1, 2, 6	p.24 - 40
		概要	西洋社会の根幹にあり、現代の合理主義の由来となる古代ギリシアの思想の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての理解を深める。		
	3	単元名	人間としての自覚	No.1, 2, 6	p.41 - 73
		概要	世界宗教としてのキリスト教・イスラム教・仏教と儒教について理解し、共同体のあり方や人間相互のつながりについて自己の課題と結びつけて考察する。		
	4	単元名	現代をかたちづくる倫理	No.3, 4, 6	p.74 - 93
		概要	人間の尊厳を論じたルネサンス、宗教改革、モラリストの思想を学び、人生への問いや人間の存在や価値について理解する。		
	5	単元名	現代をかたちづくる倫理	No.3, 4, 6	p.94 - 144
		概要	民主社会と人間の在り方や人間の尊厳、自己実現と幸福を論じた近代の諸思想を学び、自己の価値観を確立するとともに他者の価値観を尊重することの大切さを理解する。		
	6	単元名	国際社会に生きる日本人としての自覚	No.3, 4, 6	p.146 - 182
		概要	日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、日本人の心情や考え方や風土との関わり、また日本的な美意識や自然との関わりに着目して、日本人としての自己意識と結び付けて、理解する。		
	7	単元名	国際社会に生きる日本人としての自覚	No.5, 6	p.183 - 200
		概要	西洋文化を摂取し、新しい文化や思想を形成した思想家たちを通して、現代を生きる日本人の思想形成にどのような影響を与えているかを理解する。		
	8	単元名	現代における諸課題の探究	No.5, 6	p.202 - 225
		概要	自然や科学技術、社会や文化にかかわる倫理的課題について学び、その解決に向けて倫理に関する概念や理論について理解する。		
	9	単元名	まとめと振り返り		p.4 - 225
		概要	学んだ知識を基に主体的に思考、判断し、表現する力を養う。		

科目名	数学 I		単位数	2	出席すべき日数	2	
科目の狙い	道筋を立てて考えて、客観的に何が正しい事なのか、また、何が合理的なのかを判断する力を身につける。						
使用教科書	数研出版 新 高校の数学 I		学習書	なし			
区分	スターリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
(1)	1	単元名	単項式と多項式			No.1, 2, 6	p.6 - 15
		概要	基本的な計算方法を理解し、文字を使った式の整理ができる。				
	2	単元名	多項式の乗法			No.1, 2, 6	p.16 - 22
		概要	指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。				
	3	単元名	因数分解			No.1, 2, 6	p.23 - 28
		概要	分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。				
	4	単元名	根号を含む式の計算			No.1, 2, 6	p.29 - 39
		概要	根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。				
	5	単元名	不等式の解			No.3, 4, 6	p.40 - 55
概要		不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。					
6	単元名	2次関数のグラフ(1)			No.3, 4, 6	p.56 - 70	
	概要	具体的な事象から2次関数の概念を理解する。					
7	単元名	2次関数のグラフ(2)			No.3, 4, 6	p.71 - 76	
	概要	平方完成し、軸と頂点を求めることができる。					
8	単元名	2次関数の最大値、最小値			No.4, 5, 6	p.77 - 86	
	概要	2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。					
9	単元名	グラフと2次不等式			No.4, 5, 6	p.87 - 97	
	概要	2次関数のグラフと関連させて、2次不等式を解くことができる。					
(2)	10	単元名	三角比			No.1, 2, 6	p.98 - 110
		概要	正弦・余弦・正接を直角三角形における辺の比と角の大きさとの間の関係を理解する。				
	11	単元名	三角比の相互関係			No.1, 2, 6	p.111 - 113
		概要	三角比の間どのような関係が成り立つかを理解し、その関係を利用して三角比の値を求める。				
	12	単元名	鈍角の三角比			No.1, 2, 6	p.114 - 119
		概要	角を鈍角や、 0° , 90° , 180° の場合まで拡張し、正弦・余弦・正接の意義を理解する。				
	13	単元名	正弦定理・余弦定理			No.1, 2, 6	p.120 - 127
		概要	三角形のそれぞれの辺と角との間に成り立つ基本的な関係を理解する。				
	14	単元名	三角形の面積			No.3, 4, 6	p.128 - 133
		概要	いろいろな図形の辺の長さ、面積・体積などが求まる。				
	15	単元名	命題と集合			No.3, 4, 6	p.134 - 141
		概要	ベン図や表を用い、集合の包含関係や要素の個数など集合に関する基本的な事項を学ぶ。				
	16	単元名	必要条件と十分条件			No.3, 4, 6	p.142 - 149
		概要	必要条件、十分条件および逆・裏・対偶などは、定義をしっかりと理解する。				
	17	単元名	データの代表値			No.4, 5, 6	p.150 - 164
		概要	データに関する基本的な用語・記号を理解します。				
	18	単元名	データの相関			No.4, 5, 6	p.165 - 176
		概要	2つのデータを散布図に表し、2つのデータの相関関係の有無を判断する。				

科目名	数学Ⅱ		単位数	2	出席すべき日数	2
科目の狙い	道筋を立てて考えて、客観的に何が正しい事なのか、また、何が合理的なのかを判断する力を身につける。					
使用教科書	数研出版 新 高校の数学Ⅱ		学習書	なし		
区分	スカラーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書
(1)	1	単元名	式の展開と因数分解		No.1, 2, 6	p.6 - 14
		概要	3次式の乗法公式と因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。			
	2	単元名	分数式の計算		No.1, 2, 6	p.15 - 19
		概要	分数式の四則計算の方法を理解し、簡単な場合について計算することができる。			
	3	単元名	複素数		No.1, 2, 6	p.20 - 27
		概要	負の数の平方根を含む式の計算を、 i を用いて処理することができる。			
	4	単元名	解と係数の関係		No.1, 2, 6	p.28 - 32
		概要	2次方程式の解と係数の関係、2次式の因数分解について理解し、応用することができる。			
	5	単元名	因数定理		No.3, 4, 6	p.33 - 39
概要		因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いて解を求めることができる。				
6	単元名	不等式の証明		No.3, 4, 6	p.40 - 47	
	概要	不等式の性質や実数の性質をもとに、不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。				
7	単元名	直線の方程式		No.3, 4, 6	p.48 - 68	
	概要	直線が1次方程式で表されることを理解し、与えられた条件を満たす直線の方程式を求める。				
8	単元名	円の方程式		No.4, 5, 6	p.69 - 75	
	概要	円がどのように表されるかを理解し、与えられた条件を満たす円の方程式を求めることができる。				
9	単元名	軌跡		No.4, 5, 6	p.76 - 87	
	概要	軌跡について理解し、さまざまな軌跡の方程式を求めることができる。				
(2)	10	単元名	三角比		No.1, 2, 6	p.88 - 95
		概要	三角比の相互関係の拡張として三角関数の相互関係性を理解する。			
	11	単元名	三角関数の相互関係		No.1, 2, 6	p.96 - 107
		概要	相互関係の公式を用いて簡単な式の値を求めたり、三角関数の性質について理解を深める。			
	12	単元名	加法定理		No.1, 2, 6	p.108 - 119
		概要	$15^\circ, 75^\circ, 105^\circ$ などを2つの角の和や差と見なして三角関数の値を求めることができる。			
	13	単元名	指数の拡張(1)		No.1, 2, 6	p.120 - 126
		概要	指数が0や負の整数の場合について考察することができる。			
	14	単元名	指数の拡張(2)		No.3, 4, 6	p.127 - 135
		概要	累乗の指数について、整数から有理数、実数の範囲に拡張できることを理解する。			
	15	単元名	対数		No.3, 4, 6	p.136 - 151
		概要	指数法則と関連づけながら対数の基本的な性質について理解する。			
	16	単元名	接線		No.3, 4, 6	p.152 - 167
		概要	微分係数を利用して、曲線の接線の方程式を求めることができる。			
	17	単元名	関数の最大値、最小値		No.4, 5, 6	p.168 - 173
		概要	増減表を利用して区間における関数の最大値・最小値を求めることができる。			
	18	単元名	定積分		No.4, 5, 6	p.174 - 189
		概要	定積分の定義を理解し、定数倍、和・差の定積分の値を求めたり、定積分の性質について考察する。			

科目名	数学A		単位数	2	出席すべき日数	2	
科目の狙い	道筋を立てて考えて、客観的に何が正しい事なのか、また、何が合理的なのかを判断する力を身につける。						
使用教科書	数研出版 新 高校の数学A		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	和の法則と積の法則			No.1, 2, 6	p.6 - 15
		概要	和の法則, 積の法則を用いて場合の数を求めることができる。				
	2	単元名	順列			No.1, 2, 6	p.16 - 21
		概要	nPr や n!の記号を用い, さらに積の法則を用いて場合の数を求めることができる。				
	3	単元名	組合せ			No.1, 2, 6	p.22 - 35
		概要	組合せについての基本的な概念, 用語・記号を理解し, 基礎的な知識を身に付けている。				
	4	単元名	確率の計算			No.1, 2, 6	p.36 - 55
		概要	色々な事象の意味を正しく捉え, 確率の基本性質について理解する。特に, 補集合を考えることにより, 余事象が求められるようになる。				
	5	単元名	三角形の外心, 内心, 重心			No.3, 4, 6	p.56 - 71
		概要	三角形の外心・重心・内心・垂心の意味や既にそれらの性質として学んだことが成り立っているかどうかを確認できる。				
	6	単元名	円周角の定理			No.3, 4, 6	p.72 - 89
		概要	円周角の定理を用いて角の大きさを求められる。				
	7	単元名	空間の直線, 平面			No.3, 4, 6	p.90 - 99
		概要	空間上の3点を通る平面について考えることができる。				
	8	単元名	ユークリッドの互除法			No.4, 5, 6	p.100 - 108
		概要	2つの整数の最大公約数が求められることを理解し, その有用性について理解する。				
	9	単元名	2進数			No.4, 5, 6	p.109 - 122
		概要	10進法と2進法の特徴を理解し, 10進数を2進数で, また2進数を10進数で表すことができるようになる。				

科目名	基礎数学		単位数	2	出席すべき日数	2
科目の狙い	道筋を立てて考えて、客観的に何が正しい事なのか、また、何が合理的なのかを判断する力を身につける。					
使用教科書	なし		学習書	体系数学1・体系数学2		
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書
(1)	1	単元名	加法と減法		No.1, 2, 6	[1] p.6 - 19
		概要	正の数・負の数の加法, 減法の方法を理解する。			
	2	単元名	乗法と除法		No.1, 2, 6	[1] p.20 - 27
		概要	正の数・負の数の乗法, 除法の方法を理解する。			
	3	単元名	四則の混じった計算		No.1, 2, 6	[1] p.28 - 36
		概要	正の数・負の数の四則が混じった計算ができる。			
	4	単元名	文字式		No.3, 4, 6	[1] p.42 - 46
		概要	文字式における積と商の表し方を理解している。			
	5	単元名	多項式の計算		No.3, 4, 6	[1] p.47 - 54 [2] p.6 - 16
概要		既に学習した計算の方法と関連づけて, 多項式どうしの乗法の計算をすることができる。				
6	単元名	因数分解		No.3, 4, 6	[2] p.17 - 23	
	概要	乗法の公式を用いて因数分解することができる。				
7	単元名	平方根		No.3, 4, 6	[2] p.34 - 43	
	概要	数の平方根の必要性和意味を理解している。				
8	単元名	1次方程式の解き方		No.4, 5, 6	[1] p.68 - 85	
	概要	数や文字式の計算と方程式を解く方法の違いについて理解する。				
9	単元名	連立方程式		No.4, 5, 6	[1] p.86 - 102	
	概要	一次方程式と関連づけて, 連立方程式を解くことができる。				
(2)	10	単元名	2次方程式の解き方1		No.1, 2, 6	[2] p.62 - 71
		概要	因数分解を使った2次方程式の解き方を理解する。			
	11	単元名	2次方程式の解き方2		No.1, 2, 6	[2] p.72 - 77
		概要	解の公式を知り, それを用いて2次方程式を解くことができる。			
	12	単元名	2次方程式の利用		No.1, 2, 6	[2] p.78 - 83
		概要	事象の中の数量やその関係を2次方程式で表し, それを解くことができる。			
	13	単元名	1次関数		No.3, 4, 6	[1] p.76 - 91
		概要	一次関数を活用して問題を解決する方法について理解している。			
	14	単元名	1次関数とそのグラフ		No.3, 4, 6	[1] p.147 - 158
		概要	xとyの間の関数関係を表す式とみることができることを理解している。			
	15	単元名	1次関数と方程式		No.3, 4, 6	[1] p.159 - 172
		概要	一次方程式の解と一次関数のグラフの関係について考えることができる。			
	16	単元名	2次関数のグラフ		No.3, 4, 6	[2] p.88 - 94
		概要	関数 $y=a^2$ のグラフの特徴を理解している。			
	17	単元名	2次関数の利用		No.4, 5, 6	[2] p.95 - 111
		概要	関係を表, 式, グラフを用いて表し, 問題を処理することができる。			
	18	単元名	四則の混じった計算		No.4, 5, 6	[1] p.6 - 36 [2] p.6 - 16
		概要	正の数・負の数の四則が混じった計算ができる。(前期の復習)			

科目名	科学と人間生活	単位数	2	出席すべき日数	8
科目の狙い	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
使用教科書	科学と人間生活(東京書籍)	学習書	なし		
区分	スクーリング回数	単元名・概要		対応するレポート	教科書
半期	1	単元名	1編 1章 1 さまざまな微生物	No.1, 2, 6	p.14-25
		概要	さまざまな微生物の存在、生態系における微生物の役割などについて理解する。		
	2	単元名	1編 1章 2 私たちの暮らしへの微生物の利用	No.1, 2, 6	p.26-37
		概要	微生物と人間生活とのかかわりなどについて理解する。		
	3	単元名	2編 1章 1 リサイクルとは何か 2 金属の性質とその再利用	No.1, 2, 6	p.66-81
		概要	身近な材料である金属の種類、性質および用途と資源の再利用について理解する。		
	4	単元名	2編 1章 3 プラスチックの性質とその再利用	No.1, 2, 6	p.82-93
		概要	身近な材料であるプラスチックの種類、性質および用途と資源の再利用について理解する。		
	5	単元名	3編 1章 1 光の進み方とその基本的な性質	No.3, 4, 5, 6	p.116-125
		概要	光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する。		
	6	単元名	3編 1章 2 目に見える光と色の見え方	No.3, 4, 5, 6	p.126-129
		概要	可視光線のスペクトルによる分類、波長による色の違いなどを理解する。		
	7	単元名	3編 1章 3 目に見えない光とその利用	No.3, 4, 5, 6	p.130-137
		概要	日常生活における電磁波の利用について取り上げ、それらの性質や作用を理解する。		
	8	単元名	4編 2章 1 身近な自然景観の成り立ち	No.4, 5, 6	p.180-189
		概要	身近な自然景観の成り立ちとその変化について理解する。		
	9	単元名	4編 2章 2 自然災害と防災	No.4, 5, 6	p.190-207
		概要	常に変化し続けている自然景観とそれを引き起こす作用について関心を高め、自然災害について理解する。		

科目名	化学基礎		単位数	2	出席すべき日数	8
科目の狙い	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。					
使用教科書	新編 化学基礎(東京書籍)		学習書	なし		
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書
半期	1	単元名	1編 2章 物質の成分と構成元素		No.1, 2, 6	p.12-29
		概要	身近な物質を取り上げ、物質の分離・精製や元素の確認などを通して、単体や化合物、混合物について理解する。			
	2	単元名	2編 1章 原子の構造と元素の周期表		No.1, 2, 6	p.36-46
		概要	原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解するとともに、元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。			
	3	単元名	2編 2章 化学結合(1)		No.2, 3, 6	p.48-55
		概要	イオンの生成を電子配置と関連付け、イオン結合およびイオン結合でできた物質の性質を理解する。			
	4	単元名	2編 2章 化学結合(2)		No.2, 3, 6	p.56-65
		概要	共有結合を電子配置と関連付け、分子からなる物質の性質を理解する。			
	5	単元名	3編 1章 物質量と化学反応式(1)		No.2, 3, 4, 6	p.82-91
		概要	物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。			
	6	単元名	3編 1章 物質量と化学反応式(2)		No.3, 4, 6	p.92-102
		概要	化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。			
	7	単元名	3編 2章 酸と塩基(1)		No.4, 5, 6	p.106-111
		概要	酸、塩基の性質や中和反応におけるこれらの量的関係について理解する。			
	8	単元名	3編 2章 酸と塩基(2)		No.4, 5, 6	p.112-132
		概要	pHと水素イオン濃度や水の電離との関係に触れ、中和反応における、酸、塩基の価数と物質量との関係を理解する。			
	9	単元名	3編 3章 酸化還元反応		No.4, 5, 6	p.136-163
		概要	酸化と還元が電子の授受によることを理解するとともに、酸化還元反応と日常生活や社会のかかわりについて理解する。			

科目名	生物基礎		単位数	2	出席すべき日数	8	
科目の狙い	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって実験事実を認識することなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。						
使用教科書	新編 生物基礎(東京書籍)		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	1編 1章 生物の多様性と共通性			No.1, 2, 6	p.10-22
		概要	生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、その共通性は起源の共有に由来することを扱う。				
	2	単元名	1編 2章 生物とエネルギー			No.1, 2, 6	p.24-36
		概要	生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。				
	3	単元名	2編 1章 遺伝情報とDNA			No.1, 2, 6	p.42-56
		概要	遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解する。				
	4	単元名	2編 2章 遺伝情報とタンパク質の合成			No.3, 2, 6	p.58-70
		概要	DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。				
	5	単元名	3編 1章 ヒトの体を調節するしくみ(1)			No.3, 4, 6	p.76-86
		概要	生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解する。				
	6	単元名	3編 1章 ヒトの体を調節するしくみ(2)			No.3, 4, 6	p.87-98
		概要	血糖濃度が、自律神経の働きやホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解する。				
	7	単元名	3編 2章 免疫のはたらき			No.4, 5, 6	p.100-116
		概要	病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを理解する。				
	8	単元名	4編 1章 植生と遷移			No.4, 5, 6	p.122-142
		概要	陸上にはさまざまな植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。				
	9	単元名	4編 2章 生態系と生物の多様性			No.4, 5, 6	p.144-164
		概要	生態系のバランスについて理解し、生態系を保全することが重要であることを認識する。				

科目名	生物		単位数	4	出席すべき日数(半期)	8	
科目の狙い	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって実験事実を確認し、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。						
使用教科書	生物(東京書籍)		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
(1)	1	単元名	1編 1章 生命の起源と細胞の進化			No.1, 2, 6	p.10-25
		概要	生命の起源と生物進化の道筋について理解する。				
	2	単元名	1編 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ			No.1, 2, No.4, 6	p.26-57
		概要	生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。				
	3	単元名	1編 3章 生物の系統と進化			No.1, 2, 6	p.58-81
		概要	生物はその系統に基づいて分類できることを理解する。				
	4	単元名	2編 1章 細胞と物質			No.2, 3, 6	p.88-125
		概要	細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解する。 様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。				
	5	単元名	2編 2章 代謝とエネルギー			No.3, 6	p.128-155
概要		呼吸、光合成におけるエネルギーの変換の仕組みと窒素同化の概要について理解する。					
6	単元名	3編 1章 遺伝情報とその発現(1)			No.4, 6	p.162-169	
	概要	DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現を理解する。					
7	単元名	3編 1章 遺伝情報とその発現(2)			No.4, 5, 6	p.170-187	
	概要	遺伝子の発現の調節の仕組み、遺伝情報の変化を理解する。					
8	単元名	3編 2章 発生と遺伝子発現			No.4, 5, 6	p.190-233	
	概要	減数分裂から受精の過程を経て多様な遺伝的な組合せが生じることを理解する。					
9	単元名	3編 3章 遺伝子を扱う技術			No.4, 5, 6	p.236-257	
	概要	遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解する。					
(2)	10	単元名	4編 1章 動物の刺激の受容と反応(1)			No.1, 2, 6	p.264-277
		概要	外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応する仕組みを理解する。				
	11	単元名	4編 1章 動物の刺激の受容と反応(2)			No.1, 2, 6	p.278-297
		概要	受容器による刺激の受容から効果器による反応までの仕組みを理解する。				
	12	単元名	4編 2章 動物の行動			No.1, 2, 6	p.298-317
		概要	刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。				
	13	単元名	4編 3章 植物の環境応答(1)			No.3, 2, 6	p.318-333
		概要	植物が環境変化に反応する仕組みを理解する。				
	14	単元名	4編 3章 植物の環境応答(2)			No.3, 4, 6	p.334-363
		概要	植物が植物ホルモンや光受容体の働きで環境変化に反応する仕組みを理解する。				
	15	単元名	5編 1章 個体群と生物群集(1)			No.3, 4, 6	p.370-383
		概要	個体群とその変動について理解する。				
	16	単元名	5編 1章 個体群と生物群集(2)			No.4, 5, 6	p.384-405
		概要	生物群集の成り立ちについて理解する。				
	17	単元名	5編 2章 生態系の物質生産と物質循環			No.4, 5, 6	p.406-419
		概要	生態系における物質生産とエネルギー効率について理解する。				
	18	単元名	5編 3章 生態系と人間生活			No.4, 5, 6	p.420-441
		概要	生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識する。				

科目名	生物基礎		単位数	2	出席すべき日数	8
科目の狙い	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって実験事実を認識し、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。					
使用教科書	地学基礎(東京書籍)		学習書	なし		
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書
半期	1	単元名	1編 1章 大地とその動き		No.1, 2, 6	p.14-31
		概要	プレート分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解する。			
	2	単元名	1編 2章 火山活動と地震		No.1, 2, 6	p.32-48
		概要	火山活動と地震の発生の仕組みについて理解する。			
	3	単元名	2編 1章 地球の熱収支 2章 大気と海水の運動		No.1, 2, 6	p.52-72
		概要	大気構造と地球全体の熱収支や、大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解する。			
	4	単元名	3編 1章 宇宙の構造と進化(1)		No.3, 2, 6	p.76-83
		概要	宇宙の誕生と現在の宇宙のすがた、恒星としての太陽のすがたと進化を理解する。			
	5	単元名	3編 1章 宇宙の構造と進化(2)		No.3, 4, 6	p.84-94
		概要	太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解する。			
	6	単元名	4編 1章 地層と化石の観察		No.3, 4, 6	p.98-105
		概要	地層が形成される仕組みと地質構造について理解する。			
	7	単元名	4編 2章 古生物の変遷と地球環境(1)		No.4, 5, 6	p.106-113
		概要	古生物の変遷と地球環境の変化について理解する。			
	8	単元名	4編 2章 古生物の変遷と地球環境(2)		No.4, 5, 6	p.114-126
		概要	古生物の変遷と地球環境の変化について理解するとともに、ヒトの進化に触れる。			
	9	単元名	5編 1章 日本の自然の恵みと防災		No.4, 5, 6	p.130-147
		概要	日本に見られる季節の気象現象、地震や火山活動など特徴的な現象を扱うなかで、自然災害の予測や防災に触れる。			

科目名	自然科学実験		単位数	2	出席すべき日数	8	
科目の狙い	身近なものを活用した実験や観察を通じて、幅広く自然科学を理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						
使用教科書	なし		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	生物分野(1) 煮干しの解剖			No.1	
		概要	魚類の解剖を通じて、生物の体内構造について学ぶ。				
	2	単元名	生物分野(2) 煮干しの解剖			No.1	
		概要	魚類の解剖を通じて、他の生物との体内構造の違いについて学ぶ。				
	3	単元名	化学分野(1) 塩析実験			No.2	
		概要	塩析実験を通じて、コロイドの働きについて学ぶ。				
	4	単元名	化学分野(2) 炎色反応			No.3	
		概要	炎色反応を通じて、物質の見分け方について学ぶ。				
	5	単元名	地学分野(1) スライム			No.4	
		概要	スライムモデルを利用して、マグマと火山地形の繋がりについて学ぶ。				
	6	単元名	地学分野(2) 日時計			No.5	
		概要	日時計の作成を通じて、太陽の周期運動について学ぶ。				
	7	単元名	物理分野(1) ダ・ヴィンチの橋			No.6	
		概要	レオナルド・ダ・ヴィンチが設計した橋の模型を作成することで、摩擦力について学ぶ。				
	8	単元名	物理分野(2) テンセグリティ			No.6	
		概要	テンセグリティ構造を通じて、張力と剛性のバランスについて学ぶ。				

科目名	音楽Ⅰ		単位数	2	出席すべき日数	8	
科目の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 ・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 						
使用教科書	教育芸術社 MOUSA1		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要(状況により一部内容を変更する可能性があります)			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	ヴォイス・トレーニング			なし	p.10
		概要	曲にふさわしい発声方法、言葉の発音、身体の使い方など、表現に必要な技能について理解する。				
	2	単元名	舞台芸術(オペラ)			なし	p.66
		概要	オペラに関心をもち、オペラの音楽の特徴を知覚・感受しながら、それぞれの役にふさわしい歌い方を創意工夫して追求する活動や、解釈し、自分にとってのオペラの価値を考えて鑑賞する活動を通して、オペラのよさや美しさを味わう。				
	3	単元名	舞台芸術(ミュージカル)			なし	p.66
		概要	音色、リズム、旋律、構成などミュージカルの音楽の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら要素や構想と曲想との関わり、ミュージカルの背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解する。				
	4	単元名	舞台芸術(バレエ)			なし	p.66
		概要	バレエ音楽の鑑賞を通して、その音楽から想像した情景や、感じたイメージ・感情などの曲想を、その根拠となる音楽の構成や表現などの諸要素と関連付けて、バレエのよさや美しさを味わう。				
	5	単元名	Rock History(1950 - 1970年代)			なし	p.104
		概要	20世紀中頃に誕生し、ジャズとともにポピュラー音楽の中心として発展を遂げてきた「ロック」。特に盛んであったイギリスとアメリカのアーティストやジャンルを中心に、それぞれの音楽的特徴を学ぶ。				
	6	単元名	Rock History(1980 - 1990年代)			なし	p.105
		概要	20世紀中頃に誕生し、ジャズとともにポピュラー音楽の中心として発展を遂げてきた「ロック」。特に盛んであったイギリスとアメリカのアーティストやジャンルを中心に、それぞれの音楽的特徴を学ぶ。				
	7	単元名	歌謡曲からJ-POPへの100年(1960 - 1970年代)			なし	p.112
		概要	日本ポピュラー音楽が歌謡曲からJ-POPに推移していく中で、様々な楽曲が制作され、多くのジャンルやアーティストが誕生した。時代を彩る作品とともにその歴史を学ぶ。				
	8	単元名	歌謡曲からJ-POPへの100年(1980 - 1990年代)			なし	p.113
		概要	日本ポピュラー音楽が歌謡曲からJ-POPに推移していく中で、様々な楽曲が制作され、多くのジャンルやアーティストが誕生した。時代を彩る作品とともにその歴史を学ぶ。				
	9	単元名	ルールを守って音楽を楽しもう!			なし	p.31
		概要	音楽のよさを味わいながら、音楽の知的財産権の仕組みを理解する。実際の楽曲など資料を活用して、知的財産権について当事者意識をもって考える。				

科目名	美術 I		単位数	2	出席すべき日数	8	
科目の狙い	<p>・美術作品の鑑賞を通して、造形的な良さや美しさ、作者の感性や創造的な工夫について深く感じ取る態度を養う。また、言語を通じてそれらを他者と共有し、互いの価値観を理解し合うとともに、豊かな情操を培う。</p> <p>・主体的に創造活動に取り組むことで、自身の新しい感性に気付くとともに、生涯にわたり美術や美術文化を愛好する心情を育む。</p>						
使用教科書	日本文教出版 高校美術		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要(状況により一部内容を変更する可能性があります)			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	表現・鑑賞 絵画 デザイン【組み合わせてつくる】			なし (別紙プリント使用)	p.38, 39
		概要	大竹伸朗、ジョセフ・コーネルのコラージュやアッサンブラージュの作品を鑑賞し、偶然性を用いた作品制作の面白さを理解する。また、日常に溢れるチラシや雑誌などの印刷物から写真や文字などを切り抜いて構成し、思いがけなかったイメージを作り出す。				
	2	単元名	表現・鑑賞 絵画 デザイン【風景に惹かれるように】			なし (別紙プリント使用)	p.40, 41
		概要	インターネット上の地図や写真を複数参考にして、海外の絶景や憧れの場所を、いつか本当に旅をすることを想定してスケッチする。 参考:「描き留められた記憶」中内渚によるスケッチ				
	3	単元名	表現・鑑賞 絵画 デザイン【風景に惹かれるように】			なし (別紙プリント使用)	p.97
		概要	デジタルで見るマクロな風景とは対照的に、身近にある地面や壁などのアナログでミクロな世界の物質の凹凸を発見し、豊かな表情をフロッタージュの技法を用いて写し取る。				
	4	単元名	表現・鑑賞 絵画 親しみを込めて 人物画】			なし (別紙プリント使用)	p.16, 17
		概要	エゴン・シーレの「ヴァリーの肖像」「ほおずきのある自画像」、東洲斎写楽の「大谷鬼次の奴江戸兵衛」を鑑賞し、人物画の表現の魅力について理解する。そして、憧れの人物や身近な友人、大切なペットなど、親しみを感じている対象を写真や画像からよく観察し、その人柄や印象が人に伝わるよう工夫して表現する。				
	5	単元名	表現・鑑賞 デザイン【メッセージに表情やいろどりを添えて】			なし (別紙プリント使用)	p.66, 67
		概要	自分のイラストからオリジナルのLINEスタンプを作成する。紙に描いたイラストをアプリに取り込んでスタンプが実際に使用できるように申請する。				
	6	単元名	鑑賞 絵画【美術史のターニングポイント 印象派】			なし (別紙プリント使用)	p.91 - 97
		概要	美術史における一つの転換期であり、現在も多くの人に親しまれている印象派について学び、それぞれの画家の作品の美しさや面白さを感じ取るとともに、その後の美術史の中で与えた影響について理解を深める。				

科目名	体育(1)		単位数	1	出席すべき日数	5	
科目の狙い	・スポーツは人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたことを理解する。 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について事実や理念を整理する。						
使用教科書	大修館書店		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	スポーツの始まりと変遷			No.1	p.136 - 137
		概要	スポーツがどのように始まったのか、なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できるようにする。				
	2	単元名	スポーツの始まりと変遷			No.2	p.136 - 137
		概要	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組むよう意識させる。				
	3	単元名	世界の民族スポーツについて			No.2, 3	p.138 - 139
		概要	現代では競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきている。				
	4	単元名	世界の民族スポーツについて			No.2, 3	p.138 - 139
		概要	近代ではスポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人々に広がっていったことへの理解。				
	実技1	単元名	サッカー				
		概要	ドリブル・パス・シュートなどの正しい技術を習得し、的確な判断が伴ってはじめてそのプレーが生きる。的確な判断とは「どのタイミングでどの方向にどのようなプレーをするか」をできるだけ素早く認識することである。				
	実技2	単元名	テニス				
		概要	テニスは相手コートに返球できなければ失点となり、相手が返球できなければ得点を得る。相手よりも余計に打ち返すために確実に返球できる策をとり続けることがプレーを行う上で原則的な考え方であることを理解させる。				
	実技3	単元名	バドミントン				
		概要	相手から打たれたシャトルを床につく前に打ち返すため敏捷性、速く動いたためのスピード、強く打つためのパワー、打ち合いに耐える持久力などあらゆる要素が求められるスポーツであり、他のスポーツにない面白さがある。				

科目名	体育(2)		単位数	1	出席すべき日数	5	
科目の狙い	自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見する。						
使用教科書	大修館書店		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	文化としてのスポーツ			No.1	p.140 - 141
		概要	運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を理解する。				
	2	単元名	文化としてのスポーツ			No.2	p.140 - 141
		概要	多様なかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明する。				
	3	単元名	日本生まれのスポーツ			No.2, 3	p.142
		概要	日本文化的特性を持つスポーツや現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組むよう意識させる。				
	4	単元名	競技スポーツにおける競争の意味			No.2, 3	p.143
		概要	自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見する。				
	実技1	単元名	サッカー				
		概要	ドリブル・パス・シュートなどの正しい技術を習得し、的確な判断が伴ってはじめてそのプレーが生きる。的確な判断とは「どのタイミングでどの方向にどのようなプレーをするか」をできるだけ素早く認識することである。				
	実技2	単元名	テニス				
		概要	テニスは相手コートに返球できなければ失点となり、相手が返球できなければ得点を得る。相手よりも余計に打ち返すために確実に返球できる策をとり続けることがプレーを行う上で原則的な考え方であることを理解させる。				
	実技3	単元名	バドミントン				
概要		相手から打たれたシャトルを床につく前に打ち返すため敏捷性、速く動くためのスピード、強く打つためのパワー、打ち合いに耐える持久力などあらゆる要素が求められるスポーツであり、他のスポーツにない面白さがある。					

科目名	体育(3)		単位数	1	出席すべき日数	5	
科目の狙い	・オリンピズムとオリンピックの価値について説明する。 ・パラリンピックの価値について具体例をあげながら、パラリンピックの意義について説明する。						
使用教科書	大修館書店		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	オリンピックとパラリンピックの意義			No.1	p.144 - 145
		概要	現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることを理解させる。				
	2	単元名	オリンピックとパラリンピックの意義			No.2, 3	p.144 - 145
		概要	オリンピックとパラリンピックの文化的特性や現代スポーツの発展について主体的に取り組ませる。				
	3	単元名	オリンピックの課題			No.3	p.146
		概要	オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものである				
	4	単元名	パラリンピックの課題			No.3	p.147
		概要	パラリンピック等の国際大会が、障害の有無等を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることへの理解				
	実技1	単元名	サッカー				
		概要	ドリブル・パス・シュートなどの正しい技術を習得し、的確な判断が伴ってはじめてそのプレーが生きる。的確な判断とは「どのタイミングでどの方向にどのようなプレーをするか」をできるだけ素早く認識することである。				
	実技2	単元名	テニス				
		概要	テニスは相手コートに返球できなければ失点となり、相手が返球できなければ得点を得る。相手よりも余計に打ち返すために確実に返球できる策をとり続けることがプレーを行う上で原則的な考え方であることを理解させる。				
実技3	単元名	バドミントン					
	概要	相手から打たれたシャトルを床につく前に打ち返すため敏捷性、速く動くためのスピード、強く打つためのパワー、打ち合いに耐える持久力などあらゆる要素が求められるスポーツであり、他のスポーツにない面白さがある。					

科目名	体育(4)		単位数	1	出席すべき日数	5	
科目の狙い	・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを、スポーツにかかわる業種を例をあげて説明する。 ・スポーツの高潔さを脅かす要因について、なぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明する。						
使用教科書	大修館書店		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	スポーツが経済に及ぼす効果			No.1	p.148 - 149
		概要	スポーツの経済的効果が環境や社会へもたらす影響について、持続可能なスポーツの発展のための課題解決に向けて考える。				
	2	単元名	スポーツの高潔さとドーピング			No.2	p.150 - 151
		概要	競技会での勝利が個人や国家等に多大な利益をもたらすようになるとドーピング(禁止薬物使用等)が社会問題として取り上げられるようになった				
	3	単元名	スポーツが経済に及ぼす効果			No.1, 3	p.148 - 149
		概要	現代のスポーツの経済的効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、スポーツ用品・スポーツに関する情報やサービス・スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果・スポーツイベント等による波及的な経済的効果がある。				
	4	単元名	スポーツの高潔さとドーピング			No.2, 3	p.150 - 151
		概要	ドーピングは不当に勝利を得ようとするフェアプレイの精神に反する不正な行為であり、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせる行為であることについて理解させる。				
	実技1	単元名	サッカー				
		概要	ドリブル・パス・シュートなどの正しい技術を習得し、的確な判断が伴ってはじめてそのプレーが生きる。的確な判断とは「どのタイミングでどの方向にどのようなプレーをするか」をできるだけ素早く認識することである。				
	実技2	単元名	テニス				
		概要	テニスは相手コートに返球できなければ失点となり、相手が返球できなければ得点を得る。相手よりも余計に打ち返すために確実に返球できる策をとり続けることがプレーを行う上で原則的な考え方であることを理解させる。				
実技3	単元名	バドミントン					
	概要	相手から打たれたシャトルを床につく前に打ち返すため敏捷性、速く動くためのスピード、強く打つためのパワー、打ち合いに耐える持久力などあらゆる要素が求められるスポーツであり、他のスポーツにない面白さがある。					

科目名	体育(5)		単位数	1	出席すべき日数	5	
科目の狙い	・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明する。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか理解させる。						
使用教科書	大修館書店		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	スポーツと環境			No.1	p.154 - 155
		概要	スポーツに関わる人々の増加は、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになってい				
	2	単元名	スポーツと環境			No.1	p.154 - 155
		概要	スポーツを行う際には、提供者と利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められる				
	3	単元名	スポーツと環境			No.2, 3	p.154 - 155
		概要	スポーツの環境とまちづくりについて、その発展のための課題解決に向けて主体的に考えさせる。				
	4	単元名	スポーツとまちづくり			No.2, 3	p.154 - 156
		概要	健康・ビジネス・コミュニティ・持続可能性の4つの観点からスポーツとの多様性を考える。				
	実技1	単元名	サッカー				
		概要	ドリブル・パス・シュートなどの正しい技術を習得し、的確な判断が伴ってはじめてそのプレーが生きる。的確な判断とは「どのタイミングでどの方向にどのようなプレーをするか」をできるだけ素早く認識することである。				
	実技2	単元名	テニス				
		概要	テニスは相手コートに返球できなければ失点となり、相手が返球できなければ得点を得る。相手よりも余計に打ち返すために確実に返球できる策をとり続けることがプレーを行う上で原則的な考え方であることを理解させる。				
実技3	単元名	バドミントン					
	概要	相手から打たれたシャトルを床につく前に打ち返すため敏捷性、速く動くためのスピード、強く打つためのパワー、打ち合いに耐える持久力などあらゆる要素が求められるスポーツであり、他のスポーツにない面白さがある。					

科目名	体育(6)		単位数	1	出席すべき日数	5	
科目の狙い	・技能と体力の関係について説明し、それを高めるときに気をつけるべき点をあげる。 ・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを理解させ、用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を理解する。						
使用教科書	大修館書店		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	スポーツにおける技能と体力			No.1, 3	p.136 - 137
		概要	運動やスポーツの技能は体力と相互に関連しており、技能は身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮される				
	2	単元名	スポーツにおける技術と戦術			No.1, 3	p.136 - 137
		概要	個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能にはクローズドスキル型とオープンスキル型の技能があり、その型の違いによって学習の仕方が異なる。				
	3	単元名	スポーツにおける技能と体力			No.2, 3	p.138 - 139
		概要	運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方がある。				
	4	単元名	スポーツにおける技術と戦術			No.2, 3	p.138 - 139
		概要	スポーツの技術や戦術・ルールは、用具や用品、施設などの改良によって変わり続けていること、特に現代ではテレビやインターネットなどのメディアの発達などによっても影響を受けている。				
	実技1	単元名	サッカー				
		概要	ドリブル・パス・シュートなどの正しい技術を習得し、的確な判断が伴ってはじめてそのプレーが生きる。的確な判断とは「どのタイミングでどの方向にどのようなプレーをするか」をできるだけ素早く認識することである。				
	実技2	単元名	テニス				
		概要	テニスは相手コートに返球できなければ失点となり、相手が返球できなければ得点を得る。相手よりも余計に打ち返すために確実に返球できる策をとり続けることがプレーを行う上で原則的な考え方であることを理解させる。				
実技3	単元名	バドミントン					
	概要	相手から打たれたシャトルを床につく前に打ち返すため敏捷性、速く動くためのスピード、強く打つためのパワー、打ち合いに耐える持久力などあらゆる要素が求められるスポーツであり、他のスポーツにない面白さがある。					

科目名	体育(7)		単位数	1	出席すべき日数	5	
科目の狙い	・技能がどのようなstepを経て上達するか、練習によって技能が上達するとどのような特徴がみられるかをあげる。 ・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのかを説明し、よい動きを支える調整力について例をあげて説明する。						
使用教科書	大修館書店		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	技能の上達過程と練習			No.1, 3	p.164 - 165
		概要	運動やスポーツの技能の上達過程を三つに分ける考え方があること、これらの段階に応じて効果的に上達を図るためには様々な取り組み方が運動の継続に有効であることを理解させる。				
	2	単元名	効果的な動きのメカニズム			No.1, 3	p.168 - 169
		概要	運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて理解させる。				
	3	単元名	技能の上達過程と練習			No.2, 3	p.164 - 165
		概要	技能の獲得には一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながる。				
	4	単元名	効果的な動きのメカニズム			No.2, 3	p.168 - 169
		概要	運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は怪我や疾病の原因となる可能性があり、これらを予防することでスポーツが未永く継続できる。				
	実技1	単元名	サッカー				
		概要	ドリブル・パス・シュートなどの正しい技術を習得し、的確な判断が伴ってはじめてそのプレーが生きる。的確な判断とは「どのタイミングでどの方向にどのようなプレーをするか」をできるだけ素早く認識することである。				
	実技2	単元名	テニス				
		概要	テニスは相手コートに返球できなければ失点となり、相手が返球できなければ得点を得る。相手よりも余計に打ち返すために確実に返球できる策をとり続けることがプレーを行う上で原則的な考え方であることを理解させる。				
実技3	単元名	バドミントン					
	概要	相手から打たれたシャトルを床につく前に打ち返すため敏捷性、速く動くためのスピード、強く打つためのパワー、打ち合いに耐える持久力などあらゆる要素が求められるスポーツであり、他のスポーツにない面白さがある。					

科目名	保健		単位数	2	出席すべき日数	2	
科目の狙い	健康の保持増進には個人を取り巻く自然環境や社会の制度や活動などが深くかかわっている。すべての人が健康に生きていくために環境と健康、食品と健康、保健・医療制度および地域の保健・医療サービス、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて理解を深める。						
使用教科書	大修館書店		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	大気汚染と健康			No.1	p.100 - 101
		概要	人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について整理し、疾病等のリスクを軽減するために環境汚染の防止や改善の方案に応用する。				
	2	単元名	水質汚濁、土壌汚染と健康			No.1	p.102 - 103
		概要	土壌汚染は直接人体に影響を及ぼすだけでなく、食品を通して人体に被害をもたらす。また、ごみ処理施設などから排出された物質が周辺の土壌を汚染する例も見られ社会問題となっている。				
	3	単元名	過去の公害を振り返ってみよう			No.1, 6	p.108
		概要	水俣病(水質汚濁)やイタイイタイ病(土壌汚染)などの記事をもとに、健康影響について理解を深めるとともに、環境問題が自国の問題に留まらないことを話し合い理解を深める。				
	4	単元名	環境と健康にかかわる対策			No.2, 6	p.104 - 105
		概要	「環境汚染物質を出さない」「やむを得ず出してしまう場合に対策する」という2つの観点からどのような取り組みがされているのか、最終処分場の不足の問題から産業廃棄物に関する課題について考える。				
	5	単元名	ごみの処理と上下水道の整備			No.3, 4	p.106 - 107
		概要	ごみの処理過程から循環型社会の実現のための取り組みには具体的にどのようなものがあるか、また、日本におけるごみ処理状況や上下水道の普及率などの表やグラフを分析することで理解を深める。				
	6	単元名	食品の安全性			No.3, 4, 6	p.110 - 111
		概要	人々の健康を支えるためには食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると健康に深刻な被害をもたらすことがあるので、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要である。				
	7	単元名	食品衛生にかかわる活動			No.3, 4, 5, 6	p.112 - 113
		概要	食品の安全性の確保のための活動にはどのような活動があるかを行政・製造者・消費者という観点から考えるとともに、どのような法律や制度がそれらの活動を支えているかを学ぶ。				
	8	単元名	保健サービスとその活用			No.4, 5, 6	p.116 - 117
		概要	新型コロナウイルス感染症流行時の保健所の活動や、母子保健における活動などを例としながら保健行政のしくみやさまざまな保健サービスについて理解を深める。				
	9	単元名	医療サービスとその活用			No.4, 5, 6	p.118 - 119
		概要	生徒自身の疾病経験をもとに医療機関の選択や適切な医療サービスの受け方について理解を深める。その際、医療機関の種類と役割、医療サービスの活用方法について確認してみる。				

科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4	出席すべき日数	4	
科目の狙い	<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 					
使用教科書	東京書籍 All Aboard! English Communication I	学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要		対応するレポート	教科書	
(1)	1	単元名	Warm-Up 1 - 3 / アルファベット・教室で使う表現・辞書の使い方／疑問詞		No.1, 6	p.8 - 13
		概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットについて、その決まり事などを理解し、書くことができる技能を身につけている。 ・教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを理解し、適切に使うことができる技能を身につけている。 ・辞書の使い方/疑問詞について、その使い方や使う場面などを理解し、適切に使うことができる技能を身につけている。 			
	2	単元名	Pre-Lesson1 be動詞 / Pre-Lesson2 一般動詞		No.1, 6	p.14 - 17
		概要	<ul style="list-style-type: none"> ・be動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、自分の名前・性格・特徴などを、be動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。 ・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 			
	3	単元名	Lesson 1 動詞の過去形		No.1, 2, 6	p.20 - 23
		概要	動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。			
	4	単元名	Lesson 1 動詞の過去形 / Lesson 2 進行形		No.1, 2, 6	p.20 - 31
		概要	進行形(be動詞+動詞の-ing形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。			
	5	単元名	Lesson 2 進行形 / 文法のまとめ1 / Lesson 3 助動詞		No.1 - 4, 6	p.28 - 41
概要		助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解している。また、列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこで行うことができること、自分ができないことについて、助動詞can, willを用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。				
6	単元名	Lesson 3 助動詞 / Lesson4 to不定詞		No.3, 4, 6	p.40 - 57	
	概要	to不定詞(to+動詞の原形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞(to+動詞の原形)を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。				
7	単元名	Lesson4 to不定詞 / Extra Target 1 接続詞 / Lesson5 動名詞		No.3 - 6	p.48 - 63	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「接続詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・動名詞(動詞の-ing形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞(動詞の-ing形)を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につけている。 				
8	単元名	Lesson 5 動名詞 / Extra Target 2 知覚動詞 / 文法のまとめ2		No.5, 6	p.60 - 73 p.77	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「知覚動詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・「助動詞」「to不定詞」「動名詞」「接続詞」を用いた文の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。 				
9	単元名	今までのまとめ		No.1 - 6	p.8 - 77	
	概要	(1)で習った文法事項や本文内容をおさらいする。				
(2)	10	単元名	Lesson 6 受け身		No.1, 2, 6	p.78 - 81
		概要	受け身(be動詞+過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、好きな絵の紹介とその理由について、受け身(be動詞+過去分詞)を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。			
	11	単元名	Lesson 6 受け身 / Lesson7 比較表現		No.1, 2, 6	p.78 - 91
		概要	比較表現(-er)(the -est)(as+原級+as)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、アンネ・フランクについて学んだり、関心のある人物について調べた事柄を整理・理解し、考えなどを伝え合う技能を身につけている。			
	12	単元名	Lesson 7 比較表現		No.1 - 4, 6	p.88 - 101
		概要	現在完了形(have[has]+過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解し、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する技能を身につけている。			
	13	単元名	Lesson 8 現在完了形		No.3, 4, 6	p.98 - 111
		概要	[知識]「受け身」「比較表現」「完了形」を用いた文の形・意味・用法を理解している。			
	14	単元名	Lesson 9 名詞を後ろから説明する分詞		No.1 - 3, 5, 6	p.112 - 115
概要		「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理・理解し、自分たちができることを伝え合う技能を身につけている。				
15	単元名	Lesson 9 名詞を後ろから説明する分詞 / Lesson 10 関係代名詞 who, which		No.3 - 6	p.112 - 125	
	概要	関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。また、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について、自分で調べた事柄を整理・理解し、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。				
16	単元名	Lesson 10 関係代名詞 who, which / Extra Target 3 仮定法過去		No.5, 6	p.122 - 131 p.139	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞(動詞の-ing形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞(動詞の-ing形)を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につけている。 ・仮定法過去(if+過去形の文, I would ...)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 				
17	単元名	文法のまとめ4		No.5, 6	p.140, 141	
	概要	「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」を用いた文の形・意味・用法を理解している。[技能]「名詞を後ろから説明する分詞」				
18	単元名	今までのまとめ		No.1 - 6	p.78 - 141	
	概要	(2)で習った文法事項や本文内容をおさらいする。				

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	出席すべき日数	4
科目の狙い	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。				
使用教科書	東京書籍 All Aboard! English CommunicationⅡ	学習書	なし		
区分	スクーリング回数	単元名・概要		対応するレポート	教科書
(1)	1	単元名	Pre-Lesson	No.1, 2, 6	p.8 - 13
		概要	・to不定詞や動詞withなどを用いた文の形・意味を理解し、今年やってみたいことなどを相手に伝える技能を身に付けている。 ・関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解している。また、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて調べた事柄を整理・理解し、それらを用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身に付けている。		
	2	単元名	Lesson 1 関係代名詞 what / Lesson 2 比較表現 more, the most	No.1, 2, 6	p.12 - 23
		概要	比較表現(more)(the most)を用いた文の形・意味を理解している。また、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について調べた事柄を整理・理解し、それらを用いて、理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。		
	3	単元名	Lesson 2 比較表現 more, the most / Lesson 3 itの用法	No.1 - 4, 6	p.20 - 33
		概要	itを用いた文(It is ... (for ...) to ...) (It is ... that ...)の形・意味を理解している。また、ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について調べた事柄を整理・理解し、それらを用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。		
	4	単元名	Lesson 3 itの用法 / 文法のまとめ1	No.3, 4, 6	p.30 - 41
		概要	「関係代名詞」「比較表現」「itの用法」を用いた文の形・意味・用法を理解している。		
	5	単元名	Lesson 4 関係疑問文	No.3, 4, 6	p.42 - 45
概要		・関係疑問文の形・意味を理解している。また、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、好きな物語について調べた事柄を整理・理解し、それらを用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。			
6	単元名	Lesson 4 関係疑問文 / Extra Target 1 現在完了進行形	No.3, 4, 6	p.40 - 55	
	概要	・現在完了進行形(have + been + 動詞の-ing形)を用いた文の形・意味を理解している。			
7	単元名	Lesson5 to不定詞を含む表現	No.5, 6	p.56 - 59	
	概要	・to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また、歌舞伎と隈取について学び、日本の伝統文化について調べた事柄を整理・理解し、それらを用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。			
8	単元名	Lesson5 to不定詞を含む表現 / 文法のまとめ2	No.5, 6	p.60 - 69 p.76, 77	
	概要	「関係疑問文」「to不定詞を含む表現」「動詞の形と『時』の関係」を用いた文の形・意味・用法を理解している。			
9	単元名	今までのまとめ	No.1 - 6	p.8 - 77	
	概要	(1)で習った文法事項や本文内容をおさらいする。			
(2)	10	単元名	Lesson 6 動詞の目的語になるif節	No.1, 2, 6	p.78 - 81
		概要	動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解している。また、京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元有名な場所やものについて調べた事柄を整理・理解し、地元の有名な場所やものについて紹介するポスターを作成し、考えや情報などを話して伝え合う技能を身に付けている。		
	11	単元名	Lesson 6 動詞の目的語になるif節 / Lesson 7 関係副詞 where, when	No.1, 2, 6	p.82 - 95
		概要	関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁面を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解し、それをもとに、世界中で壁面を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。		
	12	単元名	Lesson 7 関係副詞 where, when	No.1 - 4, 6	p.96 - 109
		概要	知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べた事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報などを話して伝え合う技能を身に付けている。		
	13	単元名	Lesson 8 知覚動詞	No.3, 4, 6	p.110 - 119
		概要	「動詞の目的語になるif節」「関係副詞」「知覚動詞」を用いた文の形・意味・用法を理解している。		
	14	単元名	Lesson 9 使役動詞	No.3, 4, 6	p.120 - 123
		概要	使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について調べた事柄を整理・理解し、それらを用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。		
15	単元名	Lesson 9 使役動詞 / Extra Target 2 仮定法過去	No.3, 4, 6	p.124 - 133	
	概要	関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁面を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた			
16	単元名	Lesson 10 関係代名詞 who, which	No.5, 6	p.134 - 137	
	概要	・動名詞(動詞の-ing形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞(動詞の-ing形)を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身に付けている。 ・仮定法過去(if + 過去形の文, I would ...)を用いた文の形・意味・用法を理解している。			
17	単元名	Lesson 10 関係代名詞 who, which / Extra Target 3 仮定法過去 / 文法のまとめ4	No.5, 6	p.138 - 147	
	概要	「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」を用いた文の形・意味・用法を理解している。			
18	単元名	今までのまとめ	No.1 - 6	p.78 - 147	
	概要	(2)で習った文法事項や本文内容をおさらいする。			

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	出席すべき日数	4
科目の狙い	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり取り合ったり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる				
使用教科書	東京書籍 All Aboard! English CommunicationⅢ	学習書	なし		
区分	スクーリング回数	単元名・概要		対応するレポート	教科書
(1)	1	単元名	Lesson 1 to不定詞/動名詞	No.1, 2, 6	p.4 - 11
		概要	to不定詞/動名詞を用いた文の形・意味を理解している。また、海外の有名な建築物について学び、建築物について調べた事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え合ったり、原稿を書いて発表したりする技能を身につけている。		
	2	単元名	Lesson 2 現在完了形	No.1, 2, 6	p.12 - 19
		概要	現在完了形を用いた文の形・意味を理解している。また、北海道のエゾモンガやアイヌの人々について学び、生き物について調べた事柄を整理・理解し、それらをもとに、生き物について調べた事柄を用いて、写真を示しながら情報や感想などを話して伝え合ったり、原稿を書いて発表したりする技能を身につけている。		
	3	単元名	Lesson 3 使役動詞	No.3, 4, 6	p.20 - 27
		概要	使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学んだり、ファッションやスタイルについて調べたり考えたりした事柄を整理・理解し、それらをもとに、インタビューをするための原稿を書いてインタビューをしたり、インタビューに答えたりする技能を身につけている。		
	4	単元名	Lesson 4 受け身	No.3, 4, 6	p.28 - 31
		概要	受け身を用いた文の形・意味を理解している。また、昆虫食について学び、食糧問題について調べた事柄を整理・理解している。それらをもとに、昆虫食について学んだり、食糧問題について調べた事柄などを用いてミニディベートをするとき、意見や情報などを話して伝え合ったり、論議についての意見を書いたりして、ミニディベートを行う技能を身につけている。		
	5	単元名	Lesson 4 受け身	No.3, 4, 6	p.32 - 37
概要		受け身を用いた文の形・意味を理解している。また、昆虫食について学び、食糧問題について調べた事柄を整理・理解している。それらをもとに、昆虫食について学んだり、食糧問題について調べた事柄などを用いてミニディベートをするとき、意見や情報などを話して伝え合ったり、論議についての意見を書いたりして、ミニディベートを行う技能を身につけている。			
6	単元名	Lesson 5 関係代名詞 who, which, that	No. 5, 6	p.38 - 41	
	概要	関係代名詞who, which, thatを用いた文の形・意味を理解している。また、マダガスカルについて学び、地域の自然の特徴について調べた事柄を整理・理解している。それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え合ったり、原稿を書いてプレゼンテーションをする技能を身につけている。			
7	単元名	Lesson 5 関係代名詞 who, which, that	No.5, 6	p.42 - 47	
	概要	関係代名詞who, which, thatを用いた文の形・意味を理解している。また、マダガスカルについて学び、地域の自然の特徴について調べた事柄を整理・理解している。それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え合ったり、原稿を書いてプレゼンテーションをする技能を身につけている。			
8	単元名	今までのまとめ1	No.1 - 6	p.4 - 47	
	概要	(1)で習った文法事項や本文内容をおさらいする。			
9	単元名	今までのまとめ2	No.1 - 6	p.4 - 47	
	概要	(1)で習った文法事項や本文内容をおさらいする。			
(2)	10	単元名	Lesson 6 関係代名詞 <, who> <, which>	No.1, 2, 6	p.54 - 57
		概要	関係代名詞(who, which)の非制限用法を用いた文の形・意味を理解している。また、古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学び、訪れてみたい史跡について調べた事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え合ったり、まとまりのあるパラグラフを書いて発表したりする技能を身につけている。		
	11	単元名	Lesson 6 関係代名詞 <, who> <, which>	No.1, 2, 6	p.58 - 63
		概要	関係代名詞(who, which)の非制限用法を用いた文の形・意味を理解している。また、古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学び、訪れてみたい史跡について調べた事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え合ったり、まとまりのあるパラグラフを書いて発表したりする技能を身につけている。		
	12	単元名	Lesson 7 比較表現	No.1, 2, 6	p.64 - 67
		概要	比較表現を用いた文の形・意味を理解している。また、地球温暖化と再生可能エネルギーについて学び、再生可能エネルギーへの投資金額などのグラフから読み取った事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え、原稿を書いてプレゼンテーションをする技能を身につけている。		
	13	単元名	Lesson 7 比較表現	No.1, 2, 6	p.68 - 73
		概要	比較表現を用いた文の形・意味を理解している。また、地球温暖化と再生可能エネルギーについて学び、再生可能エネルギーへの投資金額などのグラフから読み取った事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え、原稿を書いてプレゼンテーションをする技能を身につけている。		
	14	単元名	Lesson 8 名詞を後ろから説明する分詞	No.3, 4, 6	p.74 - 77
		概要	名詞を後ろから説明する分詞を用いた文の形・意味を理解している。また、原爆投下により被災した広島島の路面電車とその運転士だった女子生徒の経験を通して、平和の大切さについて学び、訪れた場所を経験したことなどについてまとめた事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え合ったり、まとまりのあるパラグラフを書いて発表したりする技能を身につけている。		
15	単元名	Lesson 8 名詞を後ろから説明する分詞	No.3, 4, 6	p.78 - 83	
	概要	名詞を後ろから説明する分詞を用いた文の形・意味を理解している。また、原爆投下により被災した広島島の路面電車とその運転士だった女子生徒の経験を通して、平和の大切さについて学び、訪れた場所を経験したことなどについてまとめた事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え合ったり、まとまりのあるパラグラフを書いて発表したりする技能を身につけている。			
16	単元名	Lesson 9 仮定法過去	No.3, 4, 6	p.84 - 87	
	概要	仮定法過去を用いた文の形・意味を理解している。また、雷や異常気象について学んだり、電気自動車への切り替えについて調べた事柄を整理・理解している。それらをもとに、意見や情報などを話して伝え合ったり、論議についての意見を書いたりして、ミニディベートを行う技能を身につけている。			
17	単元名	Lesson 9 仮定法過去	No.3, 4, 6	p.88 - 95	
	概要	仮定法過去を用いた文の形・意味を理解している。また、雷や異常気象について学んだり、電気自動車への切り替えについて調べた事柄を整理・理解している。それらをもとに、意見や情報などを話して伝え合ったり、論議についての意見を書いたりして、ミニディベートを行う技能を身につけている。			
18	単元名	Lesson 10 関係代名詞 whose	No.5, 6	p.96 - 105	
	概要	関係代名詞whoseを用いた文の形・意味を理解している。また、人種差別的壁を越えて、米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者、キャサリン・ジョンソンについて学んだり、社会に影響を与えた人物について自分で調べたまとめた事柄を整理・理解し、それらをもとに、情報や考えなどを話して伝え合ったり、まとまりのあるエッセイを書いて発表したりする技能を身につけている。			

科目名	論理・表現 I	単位数	2	出席すべき日数	4
科目の狙い	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを表現できるようにする。				
使用教科書	Amity English Logic and Expression I	学習書			
区分	スクーリング回数	単元名・概要		対応するレポート	教科書
半期	1	単元名	Pre-Lesson/ Lesson 1/ Lesson 2	No.1	p.4-17
		概要	中学校の既習事項、現在形、過去形を理解し、使うことができる。		
	2	単元名	Lesson3/ Lesson 4/ Lesson 5/ Lesson6	No.1, 2	p.18-27
		概要	進行形、未来を表す表現、助動詞を理解し、使うことができる。		
	3	単元名	Lesson 7/ Lesson 8	No.1, 2	p.30-35
		概要	現在完了形の官僚・結果、経験、継続、現在完了進行形を理解し使うことができる。		
	4	単元名	Lesson 9/ Lesson 10/ Lesson 11	No.3, 4	p.36-45
		概要	受動態と比較表現(比較級、最上級、同等表現、倍数表現)を理解し、使うことができる。		
	5	単元名	Lesson 12/ Lesson 13/ Lesson 14	No.3, 4	p.46-53
		概要	動名詞、to 不定詞(名詞的用法、It is - to …、副詞的用法、形容詞的用法)を理解し、使うことができる。		
	6	単元名	Lesson 15/ Lesson 16	No.4, 5	p.54-61
		概要	分詞、関係代名詞(主格、目的格)を理解し、使うことができる。		
	7	単元名	Lesson 17/ Lesson 18	No.4, 5	p.62-65
		概要	関係代名詞(what)、関係副詞を理解し、使うことができる。		
	8	単元名	Lesson 19	No.4, 5	p.68-69
		概要	仮定法過去を理解し、使うことができる。		
	9	単元名	Lesson 20/ 全体のおさらい	No.4, 5	p.70-75
		概要	接続詞を理解し、使うことができる。教科書全体を見直し、内容を整理する。		

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2	出席すべき日数	4
科目の狙い	基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを表現できるようにする。				
使用教科書	Amity English Logic and Expression II	学習書			
区分	スクーリング回数	単元名・概要		対応するレポート	教科書
半期	1	単元名	Lesson 1/ Lesson 2	No.1, 2	p.4-9
		概要	現在形、過去形を理解し、使うことができる。		
	2	単元名	Lesson3/ Lesson 4/ Lesson 5/ Lesson6	No.1, 2	p.10-21
		概要	進行形、未来を表す表現、助動詞を理解し、使うことができる。		
	3	単元名	Lesson 7/ Lesson 8	No.1, 2	p.22-27
		概要	現在完了形の官僚・結果、経験、継続、現在完了進行形を理解し使うことができる。		
	4	単元名	Lesson 9/ Lesson 10/ Lesson 11	No.1 - 3	p.28-35
		概要	受動態と比較表現(比較級、最上級、同等表現、倍数表現)を理解し、使うことができる。		
	5	単元名	Lesson 12/ Lesson 13/ Lesson 14	No.3, 4	p.36-49
		概要	動名詞、to 不定詞(名詞的用法、It is - to …、副詞的用法、形容詞的用法)を理解し、使うことができる。		
	6	単元名	Lesson 15/ Lesson 16	No.4, 5	p.46-51
		概要	分詞、関係代名詞(主格、目的格、所有格)を理解し、使うことができる。		
	7	単元名	Lesson 17/ Lesson 18	No.4, 5	p.52-59
		概要	関係代名詞(what、否制限用法)、関係副詞を理解し、使うことができる。		
	8	単元名	Lesson 19	No.4, 5	p.60-61
		概要	仮定法を理解し、使うことができる。		
	9	単元名	Lesson 20/ 全体のおさらい	No.4, 5	p.62-63
		概要	接続詞を理解し、使うことができる。教科書全体を見直し、内容を整理する。		

科目名	基礎英語		単位数	4	出席すべき日数	4
科目の狙い	高校での英語学習に必要な基礎知識を養う。					
使用教科書	なし		学習書	東京書籍 高校英語入門 東京書籍 高校英語へのstep		
区分	スターリング回数	単元名・概要		対応するレポート	学習書	
(1)	1	単元名	アルファベット・ローマ字	No.1, 6	プリント	
		概要	・アルファベットについて、その決まり事などを理解し、書くことができる。 ・ローマ字を用いて、様々な言葉を表すことができる。			
	2	単元名	be動詞の現在形	No.1, 2, 6	入門 p.3 step p.2, 3	
		概要	be動詞の現在形を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	3	単元名	一般動詞の現在形	No.1, 2, 6	入門 p.5 step p.4, 5	
		概要	一般動詞の現在形を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	4	単元名	動詞の過去形	No.1, 2, 6	入門 p.5 step p.4, 5	
		概要	be動詞及び一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	5	単元名	動詞の過去形	No.1, 2, 6	入門 p.5 step p.4, 5	
概要		be動詞及び一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。				
6	単元名	進行形・命令文	No.3, 4, 6	入門 p.7 step p.6, 7		
	概要	現在・過去進行形、命令文を用いた文の形・意味・用法を理解する。				
7	単元名	疑問詞	No.3, 4, 6	入門 p.10, 11 step p.12, 13		
	概要	疑問詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。				
8	単元名	助動詞	No.5, 6	入門 p.8, 9 step p.8, 9		
	概要	助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。				
9	単元名	今までのまとめ	No.1 - 6	入門 p.3 - 11 step p.2 - 13		
	概要	(1)で習った内容をおさらいする。				
(2)	10	単元名	不定詞	No.1, 2, 6	入門 p.12, 13 step p.16, 17	
		概要	to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	11	単元名	不定詞	No.1, 2, 6	入門 p.12, 13 step p.16, 17	
		概要	to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	12	単元名	動名詞	No.1, 2, 6	入門 p.14 step p.18, 19	
		概要	動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	13	単元名	比較	No.3, 4, 6	入門 p.15 step p.20, 21	
		概要	比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	14	単元名	比較	No.3, 4, 6	入門 p.15 step p.20, 21	
		概要	比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	15	単元名	受け身	No.3, 4, 6	入門 p.17 step p.22, 23	
		概要	受け身を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	16	単元名	現在完了形	No.5, 6	入門 p.18, 19	
		概要	現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	17	単元名	現在完了形	No.5, 6	入門 p.18, 19	
		概要	現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する。			
	18	単元名	今までのまとめ	No.1 - 6	入門 p.12-19 step p.16-23	
		概要	(2)で習った文法事項や本文内容をおさらいする。			

科目名	家庭基礎		単位数	2	出席すべき日数	4	
科目の狙い	<p>1家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>2様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家族、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>						
使用教科書	東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	生涯を見通す・人生をつくる			No.1, 2, 6	p.12 - 37
		概要	自立した生活を営むために生活課題に対応し意思決定をしていく重要性について理解を深める。				
	2	単元名	子供と共に育つ			No.1, 2, 6	p.38 - 63
		概要	乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。				
	3	単元名	超高齢化社会を共に生きる			No.1, 2, 6	p.64 - 77
		概要	高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、介護について理解する。				
	4	単元名	共に生き、共に支える			No.1, 2, 6	p.78 - 84
		概要	家族や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支えあって生活する重要性を学ぶ。				
	5	単元名	食生活をつくる			No.3, 4, 6	p.86 - 133
		概要	安全な食生活を営むために必要な知識と技術を身に付ける。				
	6	単元名	衣生活をつくる			No.3, 4, 6	p.134 - 163
		概要	被服の機能を理解し、被服管理及び目的に応じた着装を考えられるようになる。				
	7	単元名	住生活をつくる			No.3, 4, 6	p.164 - 182
		概要	防災などの安全で環境に配慮した住居や住居の機能について理解する。				
	8	単元名	経済生活を営む			No.4, 5, 6	p.184 - 198
		概要	消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護について適切に判断できるようにする。				
	9	単元名	持続可能な生活を営む・これからの生活を創造する			No.4, 5, 6	p.200 - 207
		概要	消費社会の現状から重要性を理解し、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを理解する。				

科目名	情報 I		単位数	2	出席すべき日数	4	
科目の狙い	(1)効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2)様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3)情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。						
使用教科書	東京書籍 -新編-情報 I		学習書	なし			
区分	スクーリング回数	単元名・概要			対応するレポート	教科書	
半期	1	単元名	情報社会の問題解決			No.1, 6	p.5 - 32
		概要	情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。また、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解するとともに、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。				
	2	単元名	情報社会の問題解決			No.2, 6	
		概要	情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について思考を巡らせ、情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉えて考察するとともに、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について表現する態度を養う。				
	3	単元名	コミュニケーションと情報デザイン			No.3, 6	p.33 - 60
		概要	メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解する。また、情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解するとともに、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付ける。				
	4	単元名	コミュニケーションと情報デザイン			No.2, 4, 6	
		概要	メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に判断する。また、コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考え、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善する態度を養う。				
	5	単元名	コンピュータとプログラミング			No.2, 4 - 6	p.61 - 88
		概要	コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解するとともに、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解する。また、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する。				
	6	単元名	コンピュータとプログラミング			No.2, 4, 6	
		概要	コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考え、目的に応じたアルゴリズムを適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善する力を養う。また、目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を思考する。				
	7	単元名	情報通信ネットワークとデータの活用			No.4, 5, 6	p.89 - 116
		概要	情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解するとともに、データを蓄積、管理、提供する方法や情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解する。また、データを表現、蓄積するための表し方、データを収集、整理、分析する方法について理解する。				
	8	単元名	情報通信ネットワークとデータの活用			No.4, 5, 6	
		概要	情報セキュリティを確保する方法について考え、目的や状況に応じて情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考える。また、情報システムが提供するサービスの効果的な活用について思考を巡らせ、データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択・実行し、評価して改善する判断力を養う。				
	9	単元名	まとめと振り返り			No.6	p.5 - 116
		概要	学んだ知識を基に主体的に思考、判断し、表現する力を養う。				